

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分		専門分野		授業の方法		実習	
科 目 名		見学実習		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		80 (2) 時間(単位)	
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限		前期		教室名		実習施設	
担 当 教 員		学科教員		実務経験とその関連資格							
《授業科目における学習内容》											
見学実習は、対象者への対応等についての見学を実施する。早期体験実習などが相当し、対象者に評価・治療を行うのではなく、対象者や施設・医療スタッフに対して適切な態度で接すること、診療チームの一員としての理学療法士の役割について学ぶ。											
《成績評価の方法と基準》											
総括的評価とし、①出席状況、②臨床実習中の状況、③ソーシャルスキル(ルーブリック評価) ④実習後の提出課題内容、⑤実習後の報告会の内容を総合的に評価する。											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
出雲医療看護専門学校 理学療法士学科 実習要項											
《授業外における学習方法》											
実習施設の実習時間は1単位を40時間(80時間)とする。ただし、家庭で行う自己学習を行う場合は、この限りではない。											
《履修に当たっての留意点》											
臨床実習指導者は、免許を受けた後5年以上業務に従事した者とする。 臨床実習20単位のうち14単位以上は病院または診療所、介護老人保健施設で行うこと。その内、7単位以上は病院または診療所となる。また、訪問リハビリテーションまたは通所リハビリテーションでの実習は臨床実習20単位の内1単位以上を行うこと。											
授業の方法		内 容					使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容		
	講義 演習 形式	授業を通じての到達目標	臨床実習における目標を理解し、実習に対しての心構えや実習前の準備(知識面、態度面 等)ができる。				実習要項	臨床実習に必要な知識や技術、心構えについて確認する。			
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション								
臨床実習	実習形式	授業を通じての到達目標	1.身だしなみや言葉遣い、礼儀正しい態度で接することができる 2.共感的態度をもって人間関係を構築することができる 3.周囲に事故の存在を意識した言動を行うことができる 4.他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる 5.対象者などに対し、自身の感情を制御して接することができる 6.対象者などに相談しやすい雰囲気づくりを心掛けることができる 7.職場内のルールを守ることができる 8.指導者と良好な関係を維持することができる 9.積極的に関わり、良好な関係を構築することができる 10.守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる 11.多職種連携の展開について見学することができる				実習要項	実習での経験を振り返り自宅で必要な準備や自己研鑽の学習を行う。			
		各コマにおける授業予定	見学実習(80時間:8時間×5日間×2週間)								
実習後評価	演習形式	授業を通じての到達目標	実習先での経験をまとめ報告できる。また、他施設に実習に行った学生の経験値を共有することができる				配布資料	実習経験のまとめ			
		各コマにおける授業予定	実習報告会								